

内 容

学期・月		学習の内容	学習のねらい
1 学期	4月	オリエンテーション(1) エネルギー変換の技術 (技)	技術分野の学習の内容を知る。 エネルギー変換の方法やしぐみについて調べる (技)
	5月	エネルギー資源の利用 (技)	エネルギーが社会で利用されるために必要な変換や輸送について知る 燃料を利用した技術のしぐみを知る (技)
	6月	電気の利用 (技)	電源の種類や特徴を知る 電気エネルギーを光や熱へ変換するしぐみとその特徴を知る (技)
	7月	運動の利用 (技)	動力を伝えるためのしぐみとその特徴を知る 運動を変化させるためのしぐみとその特徴を知る 機械的に力や運動を利用するしぐみを知る (技)
2 学期	9月	エネルギー変換による作品の製作 (技)	エネルギー変換の技術を利用した問題解決の手順を知る (技)
	10月	これからのエネルギー変換の技術 (技) オリエンテーション(1)	エネルギー変換の技術での学習をふり返り技術の見方・考え方について考える (技) 家庭分野の学習の内容を知る
	11月	食事の計画 (家) 生鮮食品と加工食品 (家) 調理の基本、調理実習 (家)	食品をバランスよく組み合わせて1日分の献立を立てることができる。生鮮食品と加工食品の特徴がわかる。 安全や衛生に注意し、環境にも配慮した調理実習について理解する。(家)
	12月	日常食調理実習 (家) 地域の食文化 (家) 家庭のはたらき (家)	肉・魚・野菜の調理上の性質がわかり、肉・魚・野菜の調理ができる。(家) 郷土料理や行事食について知る。(家) 家族や家族生活とのかかわりについて考える。(家)
3 学期	1月	家庭生活と地域 (家) 幼児の体・心の発達 (家) 幼児の発達と家族の役割(家)	地域と家庭生活とのかかわりについて考える。(家) 幼児の身体の発育・運動の機能・言語・情緒・社会性の特徴を知り、幼児についての理解を深める。(家) 幼児の生活の特徴を知り、家族の役割について理解する。(家)
	2月	子どもの成長と地域 (家) 幼児の生活と遊び (家) 幼児のおもちゃづくり (家)	子どもの成長と地域・施設・人々とのかかわりについて理解する。(家) 幼児の遊びの意義について理解する。(家)
	3月	幼児・高齢者とのふれ合い体験(家)	幼児・高齢者とかかわり方について工夫できる。幼児・高齢者とかかわり、感じたことや考えたことを話し合い、幼児への理解を深める。(家)

評価

<評価の観点>

① 知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【評価の方法】

- ・ 定期テスト（①、②） ・ プリント、ファイルなどの提出物、自己評価（①、②、③）
- ・ 実習、実技、作品、レポート（①、②、③） ・ 課題解決活動（②、③）

教材・テスト・学習の方法

<使用教材・必要な道具等>

- （技術分野）・教科書 ・ ファイル ・ エネルギー変換材料（学校で購入）
 （家庭分野）・教科書 ・ 資料集 ・ ファイル ・ エプロン、三角巾、マスク（調理実習時）・色鉛筆

<テスト提出物>

学期	テスト予定	提出物
1 学期	※前・後期制のためテストはありません。	
2 学期	前期：期末テスト（技術分野）エネルギー変換	プリント・作品・レポート
3 学期	後期：期末テスト（家庭分野）食生活、家族と家庭生活	プリント・作品・レポート

※学習進捗状況や、学習理解度によって、範囲が変更する場合も考えられます。

<学習の進め方>

